



東北地方災害時気象資料を公表しました

～令和4年8月2日から5日にかけての大雨に関するとりまとめ～

東北地方に停滞した前線や前線上の低気圧に向かって、台風第6号を起源とする暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となりました。この影響で、東北日本海側を中心に積乱雲が発達し、線状降水帯が発生するなど、これまでに経験したことのないような大雨となりました。

この大雨により、顕著な大雨に関する情報を青森県、秋田県、山形県に発表し、記録的短時間大雨情報を青森県、秋田県、山形県、福島県に発表しました。特に、山形県では数時間にわたって同じ地域で大雨が続いたため、3日19時15分に米沢市、長井市、南陽市、高畠町、飯豊町、川西町に大雨特別警報（浸水害）を、4日02時41分に小国町に大雨特別警報（土砂災害・浸水害）を発表しました。

仙台管区気象台では、令和4年8月2日から5日にかけての大雨における一連の気象状況等を「東北地方災害時気象資料」としてまとめました。

東北地方災害時気象資料には、気象レーダー画像や主な地点の降水量などの気象データ、仙台管区気象台が発表した東北地方気象情報などを掲載しています。

東北地方災害時気象資料は仙台管区気象台ホームページに掲載していますので、以下のURLから入手しご利用ください。

仙台管区気象台ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/sendai/>

東北地方災害時気象資料（令和4年8月2日から5日にかけての大雨）

https://www.data.jma.go.jp/sendai/data/saigai/siryoku/20220802-05_zensen.pdf

問合せ先：気象防災部 防災調査課 担当 佐々木・蒔苗
電話 022-297-8160